

ライダーズ・イン・ザ・スカイ 第98号

新潟県央工業高校(旧三条工高)山岳部OB会発行 2021.12.30

今年も感染症対策をして弥彦山に集いました

—2021 OB会の報告—



大平園地入口駐車場で集合写真

Photo by 斎藤圭太(H17年卒)

感染症禍が続く10月23日(土)、それぞれで感染症対策をしながらOB会総会を開催しました。

今年の最年長は昭和42年卒の志田俊雄(2回生)さん。最年少は昨春卒業の55回生鈴木晟瑠さんに現役部員2名と、今年も若返りが目立つOB会となりました。

9:00 弥彦商工会駐車場で自己紹介してからトイレ経由で登山開始。天候に恵まれて、始まりつつある紅葉を見ながら山頂を目指します。男ばかりで年齢がばらばらの登山集団に、「何のグループですか?」とたずねられることしきり。

11:30 秋風に吹かれながら大平園地の高頭仁兵衛寿像碑に着くと、金沢から車で直行参加の志田さんが早々と寿像碑の前で風に吹かれながらお待ちで恐縮至極でした。

植え込みの陰で金子達先生の録音に合わせてライダーズ・イン・ザ・スカイを歌って総会セレモニーを行い、9回生の川村さんが待機している大平園地入口駐車場に移動して全員で改めて記念写真を撮影しました。

志田さん差し入れの金沢名物の笹寿司とおはぎをいただきながら交流会を行いました。交流会は、天候に恵まれたことから、再来年、創部60周年となる歴史を感じようと、卒年順に全員が当時の思い出をふまえての近況報告を順次行ない、予定時間を延長して13:00に解散しました。

今年も、表参道登山道からのメイングループの他、裏参道から、車で直接参加と、弥彦山ならではのそれぞれの参加形態がありました。ちなみに廣瀬会長は燕市の自宅から走っての参加でした。

総会では、山岳部に部の名入りTシャツを寄贈して、感染症に負けず部員獲得に励むように「圧力」をかけました。

参加人数 OB:16名 元顧問:1名 顧問:3名 部員:2名

返信葉書、メール、LINE メールで届いた **近況・コメント集**

★10月15日、老母(94歳)をショートステイに1泊で預け粟ヶ岳へ。下山して帰宅後、施設から「血圧が200を超え、嘔吐、下痢をしている」との事で、見附市立病院へ入院させる。点滴と投薬で少し落ち着く。翌朝、担当医から、環境が変わった為か、深夜に急に笑い出したりしておかしいとのことで、自宅に連れ帰る。

現在は、血圧150~140くらいで落ち着いていて、血圧の薬もやめました。私が1~2時間不在だと怪我をしたり失禁の始末を自分でしようとして後で修復が大変です。今回は申し訳ないが欠席とさせていただきます。

老母には心配をかけながら、岩登りに熱中したり、秋になれば5年連続でネパールに出かけたりして家を空けていました。少しは側にいて親孝行しろとの神様の諫めなのかも?

実体験から山を夢中になって登れる時期は意外と短いと思う。山は逃げないが、山に登るチャンスは足早に逃げてゆく。OB諸氏には山に登るチャンスを積極的に生かしながら、長く登山を続けてもらいたいと願っています。

昭和41年卒 斎藤 勲(1回生)

★皆様、頑張ってお仕事増やしてくださいませ。

昭和41年卒 金子徳蔵(1回生)

★この5月末にて、常勤の会社勤めを卒業させて貰いました。延べ55年間の会社人生でした。非常勤でまだ1社に在籍ですが、コロナ禍と合わせ、初めて“暇”を味わって居ります。久しぶりにOB会へ出席したいな~と思って居りますが、直前まで私用が有り検討中です。

昭和42年卒 志田俊雄(2回生)

★昭和43年、三条工業3回生の私は72歳となりましたが、休みの日は出来るだけ体を動かす様にしています。

山歩き、妻との裏磐梯周辺、猪苗代湖一周のウォーキング、阿武隈の軽ハイキングです。そして夏の北海道の山々、冬も北海道でのパウダーを狙い山スキーに通っています。

冬の12月~5月の6か月間は山スキーの仲間と半年間の計画を作りそれを目指して山スキーを続ける、そうでもしないと山スキーに対する意欲、体力維持が出来そうもありません。

まだまだ、アウトドア、山歩きを続けます。

昭和43年卒 渡辺五郎(3回生)

★体調不十分のため欠席します。

昭和44年卒 大原正昭(4回生)

★最近のコロナの影響で顧客訪問も難しくなっています。私も古希を迎え体力も少しずつなくなってきました。皆さまは元気で過ごしておられると思います。もう少し現役で頑張ってみます。今回の総会は出席できず申し訳ありません。

昭和45年卒 市川正和(5回生)

★退職から8年が過ぎました。毎日元気で学校の同窓会事務所に出勤しています。10月・11月は、育休者の代わりに非常勤講師を頼まれて、久々に生徒の前に立って授業をしています。

登山の方は里山にポツンポツン程度です。

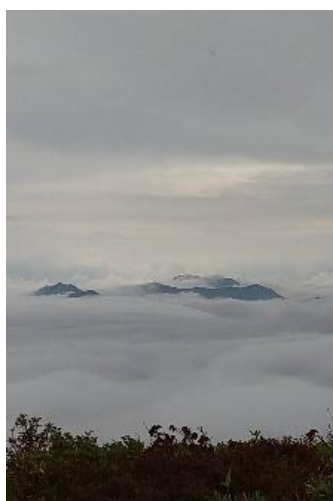
昭和46年卒 吉田光二(6回生)

★昨年6月に肺ガンと診断を受け、入退院を繰り返しましたが、本年7月以降、肺機能低下にともない、歩行時には酸素の補助が無いと歩けなくなりました。

リハビリをして、ハイキング程度で山へ行ければと思っておりましたが、残念ながらそれもかなわなくなりました。

車の運転は支障が無いので、最近はドライブで山を眺めに出掛けています。

昭和49年卒 川村芳夫(9回生)



★昭和54年卒の阿部孝幸(14回生)です。

OB会に参加します。

9時、弥彦商工会駐車場に行きます。

昨日は、浅草岳に登り山頂では珍しい滝雲を見れました。

★昭和60年卒 鈴木孝一(20回生)です。

事務局の方々準備等いつもお疲れ様です。

仕事柄、土曜日は中々休みにくく今回も欠席させていただきます。

すっかり中高年となり、皆様方の山の写真を拝見してとても羨ましく思います！
山行のご無事とOB会のご盛況を祈念いたします
す♪

★昭和63年卒 高山光(23回生)です。
みなさんのご活躍楽しく読んでおります。

★平成3年卒 松井英樹(26回生)です。

最近の山行は浅草岳に田子倉から登りました。
荒々しい鬼ヶ面山を見れて楽しい山行きでした～。



★平成4年卒 石村統(27回生)です。
最近の山行は小千谷の城山です。登山とまではいきませんがなかなか楽しい山です。水場もありますし皆さんもいかがでしょうか。

★ご無沙汰しております。
23日のOB会ですが、父の33回忌法要の為、欠席となります。また来年の総会楽しみにしております。吉田先生並びに顧問の先生、現役生の方々の益々のご活躍をお祈りいたします。

平成4年卒 近藤秀峰(27回生)

★夕日トレランスタイルで弥彦山へ。
10月23日OB会で皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。
当日はよろしくお祈りいたします。

平成7年卒 廣瀬守彦(30回生)

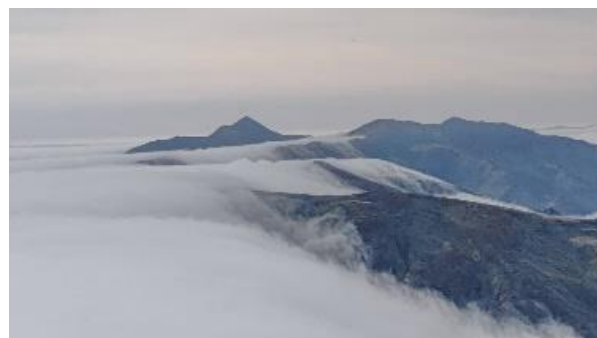


写真左は9合目の土砂崩れ復旧地

★H11年卒 佐藤大地(34回生)です。
相変わらず毎週どこかの山に行っています。

9月・10月の山行…

- ①小蓮華山への稜線
- ②以東岳から雲に浮かぶ大朝日岳
- ③妙高山から御来光前の富士山
- ④八海山八ツ峰の紅葉
- ⑤新潟焼山からの火打山



以東岳から雲に浮かぶ大朝日岳

★平成12卒 原卓史(35回生)です。
最近山に登れてないので思い出の巻機山にまた登りたいなと思っています！！

★平成13年卒 早川潤(36回生)です。
今年のOB会の弥彦山登山、参加させていただきます。よろしくお祈りいたします。

★先日、小学1年生の娘と国上山へ初登山に行ってきました。親の心配をよそに娘はスイスイと登りきり「また登山したい」と言っておりました。10月23日の総会は都合が悪く参加することが出来ませんが、皆様のご無事を祈っております。

平成14年卒 佐野恵介(37回生)

★平成17年卒 斉藤圭太(40回生)です
OB会参加します。商工会議所からよろしくお祈りいたします。
先月、越後駒ヶ岳に登ってきましたよ。



★平成19年卒 川村浩貴(42回生)です。

弥彦山登山、参加します。
弥彦商工会駐車場に集合します。よろしくお祈りいたします！

★平成19年卒 川村健太(42回生)です。
なんやかんや忙しく山には全く登れてないです。

★平成19年卒 大山和俊(42回生)

★平成23年卒 大山清史(46回生)

山には登れていませんが、登山用品を探しにウエストにちよくちよく通っております。最近、冷え込むので皆さんお身体にお気をつけてお過ごしください。

★この一年のコロナ禍の影響で4月に失業したり、ランニングにハマったり、学校に通ったりと良いこと悪いこと、大笑いの変化がありました。10/11に電気に関わる仕事を挑みます。

平成25年卒 福原拳太 (48回生)

★このたび、9月24日に第一子となる元気な男の子が誕生しました。会社から育児休暇を頂けることになりました。夫婦ふたりで大切に育てていきたいと思っております。OB会当日はちょうど生後一ヶ月で少し忙しい時期の為、今回は欠席することになりました。近い将来、もしかしたら子供と山に登ったり、OB会に参加したりできる日が来ると思うと楽しみでなりません。

平成25年 波塚崇宏 (48回生)

★会社の有志の方々に登山のアドバイザーとして山登りしています。

今月は10/16に五頭山の予定です。

平成25年卒 高橋将汰 (48回生)

★私の近況ですが一昨年くらいから何かに取り憑かれたように登山をしており、先日は平標山、仙ノ倉山に登りました。紅葉には少し早かったのですが、雲一つない秋晴れ



で仙ノ倉山頂からは豆粒くらいではありますが、富士山が見えました。普段の週末は弥彦山 or 角田山に頻繁に登っています。もし見かけた際は気軽に声をかけていただければ嬉しいです。

機会があれば現役部員と一緒に登れたらなあ〜なんて思っております。時間がある際に高校に顔を出そうと思っておりますので、宜しくお願いします🙏

平成26年卒 高井裕也 (49回生)

★透析生活5年目。何とか生きています。先日、高頭祭(7月25日)の前日、日本山岳会の古野淳会長と献花におとずれ、長岡の高頭さんの墓参りもしてきました。

元顧問 藤田善思

★土日は孫のスポ少の練習や試合等もあり、その送迎に駆り出されてしまいます。都合つけば山頂でお待ちしたいと思っておりますが、厳しいです。みなさんにお会いしたいのですが、申し訳ありません。よろしくお伝えください。

元顧問 石川恵子

★当日の体調をみて、調子が良さそうなら駐車場に行くかもしれませんが、あてになりませんので、とりあえず山頂に合流とお知らせします。

元顧問 宇佐美博康

出欠連絡のみ

★元顧問 金子 達
★昭和41年卒 阿部 敏 (1回生)
★昭和47年卒 小出一雄 (7回生)
★昭和49年卒 熊谷善和 (9回生)
★昭和60年卒 鈴木孝一 (20回生)
★平成02年卒 徳橋弘倫 (25回生)
★平成05年卒 金安 武 (28回生)

★平成11年卒 小柳将人 (34回生)
★平成25年卒 高橋晃浩 (48回生)
★平成25年卒 藤田一馬 (48回生)
★平成27年卒 平瀬拓海 (50回生)
★平成26年卒 土田 将 (49回生)
★令和02年卒 鈴木晟瑠 (55回生)
—敬称を略しています—

—2021 OB会を終えて— OB会会長 廣瀬 守彦 (H07年卒)

先日はお忙しい中、OB会総会・弥彦山登山にご参加いただきありがとうございます。2回生の志田俊雄さんをはじめ大先輩のお話を聞き、創部からの歴史を語る時間がとても印象的でした。

また、OBの近況報告では、みんながフィールドに目が向いており、ちょっと安心しました。フィールドでの総会は色々リスクがありますが、各年代のOBとの距離を近づけられるのではないのでしょうか。

再来年は1963年(昭和38年)の創部から60周年と節目となります。大勢のOBに集まっていただきたいと思っております。また、節目の取り組みに対してのご意見をお寄せください。

—2021 OB会を終えて—

事務局長 川村 浩貴 (H19年卒)

今回のOB会では各々の思い出を語ることで、年の離れたOBの方たちから当時の部活の出来事を聞けるという、あまりない経験ができて楽しかったのではないかと思います。ただ、全員が話すのでどうしても時間がかかってしまいました。

長時間、屋外にいるので寒いというのもありました。風を凌げれば良いと考えたのですが、タープをたくさん張るくらいしか思いつきませんでした。

より充実したOB会になるように、来年に向けて皆さんのご意見をお聞かせいただきたいと思えます。

新入OB紹介

今春の卒業生も昨年同様に、祝ってくれる在校生の居ない講堂で、学級担任から卒業証書を受け、クラスごとに記念写真を写すという簡素化された卒業式で巣立ちました。めげずに頑張れ!

山田裕太さん(56回生)：日本電子専門学校に進学

—投稿—

嵩上げなった笠堀ダムを訪ねて思ったこと

(令和3年9月25日)

昭和49年卒 川村芳夫(9回生)

笠堀ダム堰堤左岸の駐車場に着き、周囲を丹念に観察してみました。

嵩上げ前のダム管理事務所の建物は2階上部が堰堤より覗いていました。駐車場脇(堰堤の手前)にカモシカのモニュメントがあり、その銘板に「昭和46年」とあり、このダムから初めて石小屋沢へ入っての夏山2次合宿の年で、あれからちょうど50年の歳月が流れたんだと思いました。

(今年は昭和でいうと96年です)

水平道は当時と同様にダム湖に沿って奥へ伸びていました。この道は嵩上げがされた分だけ上部に持ち上がったと思われます。

この日はダムの水位は非常に低く、乗り場への階段は当時の姿のままに覗くことができました。(当時の遊覧船は「光明丸」と記憶しており、石小屋沢へ行く時、何回かコウモリの岩場まで乗せてもらったことを思い出します)

そういえば、船乗り場の上(管理事務所の前と記憶しています)のお土産屋さんがあったと思いますが、今は影も形もありません。

水平道を飽きることなく眺めていると、50年前の記憶が昨日のこのように脳裏に蘇ります。

昭和46年8月10日～12日の夏山2次合宿で訪れた日は、大変暑い日と記憶しております。

メンバーは、高橋先生、大原先生、OBの川崎さん(現・吉田先生)、そして現役は小出さん、小森、川村の6人と記憶しています。

ダムを渡り、右岸の水平道を湖に沿ってジグザグに歩きますが、ダム堰堤との直線距離がなかなか離れません。我慢の長い水平道を歩き続け、やっとダム湖と別れ、やがてウルイサドリの岩壁に到達しました。

山の深い緑、そして岩壁の白さ、夏の日を浴びてエメラルドグリーンに輝く笠堀川の川面。なんと美しいことか! 自然の美しさに感動の連続でした。

また、対岸の岩場を見ながら、川崎先輩より「あれがルンゼ」等々の説明を受けながら石小屋への道をたどりました。(愛読する道路地図に「ヤマビルとメジロに守られた手つかずの自然が残る下田川内山塊」と説明があります)

途中、大原先生は一人道を外れて藪の中へ入り、出てこられた時には腰にマムシをぶら下げたの登場で、内心腰が抜けそうでした。(山が好きなくせに本当は蛇は苦手でした。もちろん今もそうです)

暑い中、ようやく石小屋の幕営地に到着し、設営を終え、夕食にはまだ早いということで川崎先輩

と現役3名がパンツ一丁、笠堀川の右岸に沿った山道を遡り、淵を見つけて全員川へ飛び込みました。

飛び込んだとたん、水面にメジロの大群が群れ、全員川を飛び出して一目散に石小屋へと来た道を走り、逃げ帰りました。

夕食には大原先生の昼の獲物も食卓に上がり、恐るおそる食べると、これが意外といけます。別名、丘ニンシと教わりました。

そして、楽しい焚火を囲ってのひと時。歌をうたい、そしてブナの木に戯れたり、飽くことのない夜長です。

合宿2日目は石小屋沢を登り詰め、一人ずつシルバーザッテル〇〇岩に鎮座して記念撮影です。

帰路は三工尾根を下り、一部、懸垂下降で降りた記憶が残っています。また、高橋先生が浮石を取り除こうと投げた石が、下に行く大原先生の頭上をかすめ、一同ヒヤリとしました。（この辺りは秋、松茸が出るとのことでしたが、過去、私は一度も巡り合うことはありませんでした）

お昼は、サンショウウオ（清流に生息するのはハコネサンショウウオでしょうか？）が巢食う石小屋沢に小石を並べ、流れにサンショウウオを見ながら流しそうめんに舌鼓を打ち、大満足です。

合宿最終日は笠堀川対岸のロボット（自動雨量計測装置所）まで登り、石小屋沢を眺めあげ、その美しさにまた感動一頻りでした。

いよいよ石小屋沢ともお別れです。たどり来た道を引き返し、ようやくのことダムサイトへたどり着き、どこで破れたか、お土産屋さんの前のベンチでニッカーボッカ（といっても、母親に学生ズボン

を細工してもらったただけのもので、古着です）を川崎先輩より針と糸をお借りして縫いました。

まだ入部したての右も左も分からない子供でしたが、それぞれの山にそれぞれの魅力があることを感じとれた貴重な山旅だったと思います。

編者注：シルバーザッテルは地形図には「組岩」と表記され、地元の地図には「マナイタ岩」と表記されています。



上記の思い出のもとになった山行報告2点を
1971年（昭和46年）三条工業高校山岳部部報 第5号 より転載します

石小屋沢 （第2次夏山強化合宿）S46.8.10~12 川村芳夫

僕はまだ一年生ですので、部報を出すから書いてくれといわれた時は困ったなと思いましたが、僕なりに書いてみたいと思います。

8月10日、全校招集日。その日はじっとしていても汗ばむような日であった。

全校集会の後、支度を始め、小森と今日の山行などを話しながらのんびり着替えた。

「今日は暑くていやだな。」と彼は言った。

「そうだなー、これから出かけるとちょうど暑い盛りに歩き始めることになるな……。」

その時、そろそろ出発の時間であることに気づいた。

畜生、今日のザックはやけに思いな。事実、今日の山行は山岳部員3人という少数のため、団体装

備が個人に多く回るのは常である。足どりは重く、私の足には錘がついたかのようにであった。早くも私の体には汗が満ちてきていた。

正面玄関まで行って、大原先生を待つつもりでいたが、肝心の先生はなかなかお出でにならない。

「先生、まだらかや。」と私は言う。「うむ…。」あとバスが発車するまでに20分に迫っている。

あと15分。先生は急ぎ足で来られ「急ごう一。」

夏の強い陽射しを受けて、私たちは一生懸命に力一杯歩いた。体を汗でぬらして。

ようやくのことでバスに間に合い、八木前そして笠堀へと行った。

バスを降りて出発前に隊形を整えていよいよ出発である。

そんな中で太陽はまさに「絶好調」である。

「さあ！ 行こう。」川崎さんの声がする。

ダムサイトを渡り、いよいよ湖水に沿った山道へと入る。道は湖水に沿うため、曲がりには曲がり、石小屋を一層遠いものにしていく。

実に暑く、もう体には汗が満ち満ちている。肩は痛く、足どりは重い。そんな思いで歯を食いしばって歩く長い長い時間が過ぎた。やがて、待ちに待った「休憩」の聲がかかる。時計を見るとなんとなんと30分しかたっていないではないか。それにしてもなんと長く苦しい30分であったろう。

石小屋への道は、湖水を過ぎたあたりから、眺めは私たちの疲れをいやしてくれるほどの美しいものへとなくなっていった。水は青く澄み、空も青く、なにもかもが美しく澄みきっている。私が考えていた笠堀と、行ってみた笠堀とでは、まさに月とすっぽんである。

私たちはこの美しい大自然の中を通り、予定より30分遅れで石小屋のベースキャンプへと入ったのは4時30分であった。この頃には曇りだし、遠くには雷を聞くほどになってきた。

テントを張り終わる頃には雷雨と化した。これも夜になり私たちがフェスティバルをやる頃にはすっかり晴れあがっていた。

私たちのフェスティバルは、夜になって深い眠りに入っている石小屋を呼び起こすかのように、盛大に行われた。

8月11日

この日はよく晴れあがり、さもさも石小屋沢が私たちを呼ぶかのようにであった。

私たちはかけ上がらばかりに石小屋沢を登り、シルバーザッテルに立つ。

川崎さんと高橋先生にはF3で別れた。岩登りに向かった訳である。私たちはザッテルより先生たちの姿を高みの見物である。

シルバーザッテルより望む景色は日本一美しい（私はそう思った）。まさに、「白きたおやかな峰」である。

この日は、石小屋沢から帰ってきて泳ぎに行ったが、水に入った瞬間から“めじろ”とかいう、閻魔大王の子分みたいな、恐ろしく変なのに追いかけられ、全身をめっためったに刺され、泳ぐことなく逃げるのに必死、逃げろや逃げろの大奮闘であった。まったくもってひどかった。地獄に落ちるとこんなになるのではないかと思われるほどであった。

8月12日

この日もよく晴れあがった良い日で、ロボットへとかけ上がった。ここは石小屋沢を一望するよい場所で、実に美しかった。石小屋沢は一見、谷川岳の沢にも似ているような気がした。

降りてきて、テントを撤収して昼食を食べて笠堀へと向かった。暑く、そして長い長い道のりであった。

やっとの思いでダムまでたどりついて楽々した気分になったのもつかの間、なんと、ザックをおろしたその瞬間、とうとうこらえにこらえていたのであろう、ズボンがめちゃくちゃになったではないか。

「ご苦労さん」とズボンに敬意を表したいと言いたいところだが、もう少しこらえていてくれればよかったものと思った。

私はそのズボンを見て憂鬱になった。どこから手を入れていいやら、かきもく見当もつかないくらいにボロボロにほつれたのだ。

その時である。「よこしてみろ」と川崎さんの声がしたのだ。まさに天の助けである。やっとの思いで縫ってくださったのだろう。まったく感謝感激、雨あられであった。

私はそろりそろりとバスに乗り込み、やっど解放された心持ちになった。

東三条に着き、電車に乗って見附へ着く。

三日間をふり返り、楽しかったこと、苦しかったことを思い浮かべながら家路を急いだ。

俎岩のスリル、シルバーザッテルの眺望、松茸、ヤブと岩の三工尾根と、私の思い出の山行となっている石小屋沢は、近年のOBと部員にとっても良き思い出の多い場所として心に残っているであろう。

一身上の都合で三条に帰ってきた私は、第二次夏山合宿で思い出多い石小屋沢に入った。

真夏のバカ暑い最中、うんざりするあの道を、歩け歩けで石小屋に着くと、眼に入る樫の巨木、岩、ステージ、そしてその辺に転がっている石ころと、すべてが懐かしく感じられ、山岳部での充実した生活が思い出されて、なんともいえない落ち着きを覚えた。

夜、火を囲み、高橋先生や大原先生と飲んだ赤い飲み物は野生の本能を呼び起こし、騒ぎに騒いだあげく、ヘッドライトに照らされながら高いところを求めて木に攀じ登り、木から木へとロッククライミングならぬツリークライミングを演じ、さらには樫の二俣の所にザイルをかけ、プルーゾックで登りだす始末。今思えば何とかは高い所に登りたがるとは、よく言ったものである。あんまり騒いだためか、夕食の頃に聞こえていた仏法僧の音がさっぱり聞こえてこなかった。酒の無くなる時が石小屋フェスティバルの終末だった。

朝のすがすがしさの中に響くF1の音を聞きながら沢に足を踏み入れた。額ににじむ汗が街での汗とは別に快く感じながらも、相変わらず短い足に転石をまたぎながら腹立たしかった。この腹立たしさは、ヒョイヒョイと越えていく足の長い現役部員に対して起こったのかも知れない。

二俣上部で上が大きくハングした滝を乗越そうと、リーダーの小出が苦労している。一年生もその場まで登り、押しやり押しやりしている間、顧問や私は下で、どうのこうのとヤジ馬的存在で部員の活躍ぶりを見学していた。この滝はほんとうにいやらしい感じがする。苦しいバランスでやっとホールドを見つけたと思うと、上のハングに頭をいやというほどナデナデされてしまうのである。10月に友人の鈴木とここを訪れた時、よくも呼んだり「いやがらせの滝」とは、まさにズバリそのものである。

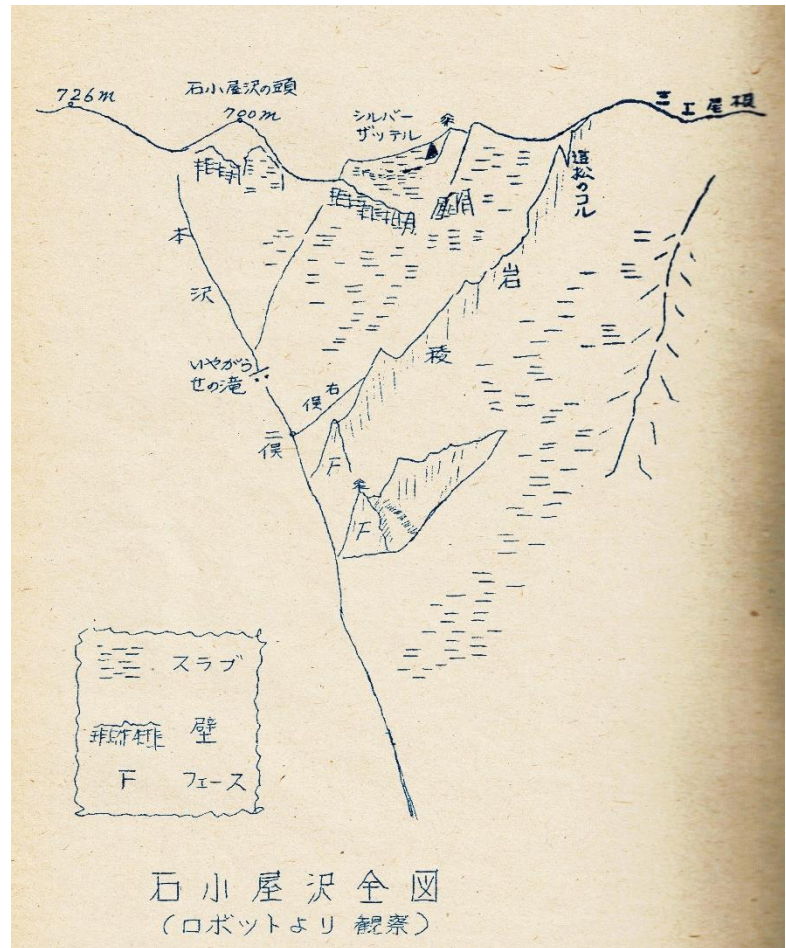
高橋先生に岩稜を登ろうと誘われていたため、ここで部員と大原先生とは別れ二俣まで足を戻した。以前に石小屋沢に来た時、このゴツツイ岩稜、いつかは、なんて考えながら見上げていただけに、高橋先生に誘われた時は実にグロリーな感じだった。しかし、まるっきり未知の岩稜だけに不安は隠せなかった。

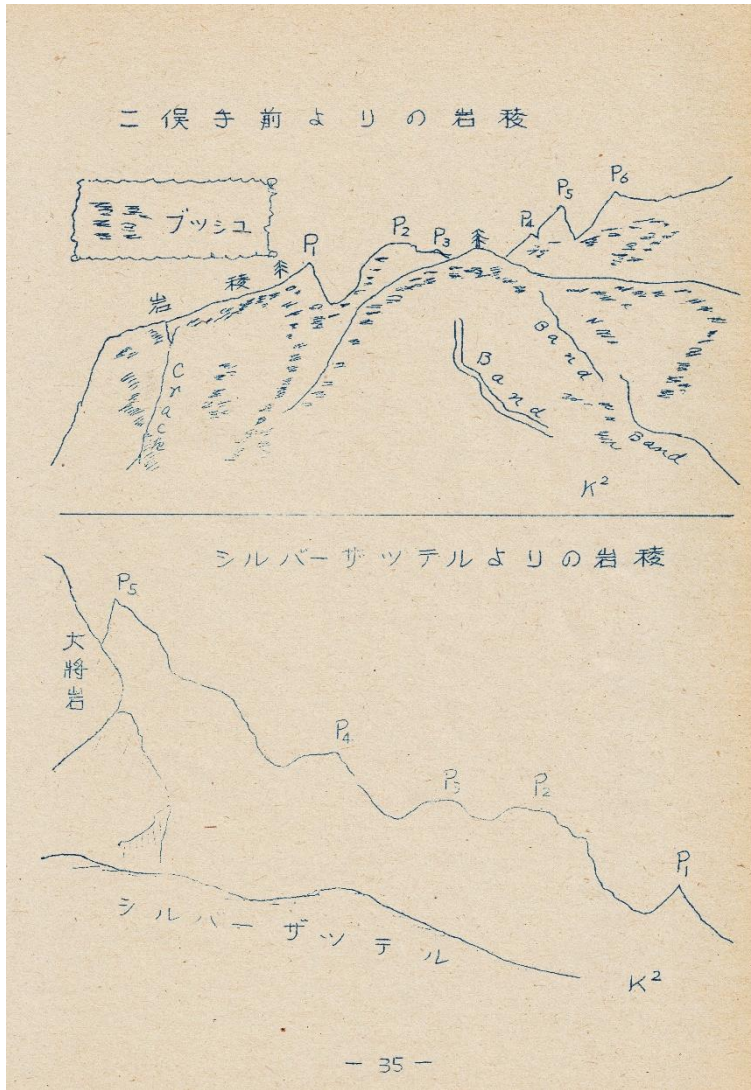
なんとかこうとか取り付きを探して取り付いたは良いが、長い間の運動不足がたたって、ワンピッチ登っただけでタンペタンペしてしまった。

岩にへばりついていると現役連中がシルバーザッテルからこちらに向かってギャーギャー言ってくる。もっかかり込み中の私の返事は「死にそげらいや〜」「なんぎいや〜」。稜に出れば夏の日を遠慮なしに浴び、シルバーザッテルにいる連中に向かって「水をくれ〜」。

こんなお粗末な私でも先生にとってみれば命を預かったたてまえ……で、いろいろ心配していただいた。最後のヤブの登りを苦しさで死ぬ思いで登り、三工尾根に飛び出した時、「先生、どうもお世話になりました。」これが私の精一杯のお礼の言葉であった。

あえぎあえぎ三工尾根を下った後の石小屋沢出合での昼食は、またしても一年生にとって忘れ得ぬ思い出となったことであろう。サンショウウオの泳ぐ沢水の中に、高橋先生得





意のソーメンを浸して、裸で我先にとギヤギヤ言いながら食べる様は、私に44年の飯豊連峰での合宿を思い出させてくれた。あの時は最後の泊り場の種蒔山直下で先生が沢の上流からソーメンを流してくれたのだった。

石小屋沢からの帰り、ダムまでの約2時間は、なんとなしに満ち足りた気がしていた。そんな気持ちの中でやっぱり登ってきた岩稜のことが一番のウエイトを持っていたようだった。とにかく苦しくてピークが幾つあったのか、何ピッチあったのか、さっぱり記憶には残っていなかったが、私にとっては久しぶりに味わった充実感だった。

そして卒業後に訪れた石小屋沢は、久しぶりに帰った我が家のような感じがした。

※50年前の原稿の一部転載であり、自然保護に対する認識は当時のものです。

※この時登った岩稜はOB間で「高小リッジ」と呼ぶようになりました。もちろん、高橋小一郎先生の名前からつけたものです。

※高小リッジは、この時のほかに川崎と高橋先生とでもう一回登り、その後、川村さんが卒業後に高橋先生と登り、都合3回トレースしました。

※図は高橋小一郎先生がガリ版刷りで印刷したものです。

—事務局来訪記録—

11月09日(火) 片野新太郎 H06年卒 29回生

高橋 泰斗 R02年卒 55回生

※OB会に参加できなかったということで遊びに来てくれました。

OB会ホームページも随時更新しています

皆さんも遠慮なく投稿してください。会員名簿にもアクセスできます。

OB会メール通信をLINEに移行します

LINEに登録をお願いします

現在のメール通信を廃止してLINEに移行します。

山岳部OB会LINEは現在43名が登録して随時発信しています。

－編集後記－

健康を害して山に登れなくなったというOBの川村さんが、笠堀ダムを訪ねて昭和46年の思い出を手紙で送ってくれました。その原稿をHPにアップしましたが、多くの思い出と汗が染みこんだ石小屋沢が忘れられてしまいそうなので、許しをもらってこの紙面に掲載しました。

この思い出の元となった合宿の報告が当時の部報（山岳部の記録を冊子にまとめたもの）に掲載されており、50年前の川村さんのピュアな原稿が味わい深いので、それも転載させてもらいました。また、その合宿に参加していた私の原稿の掲載もあり、「石小屋フェスティバル」の様子を書いていたので合わせて原稿の一部を転載しました。

50年前は大いに自然と同化して楽しんでいたことが分かります。自然に親しみ、自然のありがたさが分かってこそ実のある自然保護ができるのかなあと、勝手に思っています。

コメント集を見ると、山にドハマりしているOBがけっこういるようです。みんなの山行報告が集まってくると楽しいのですけどね。

ホームページ掲示板の書き込みもNo.1186と、とてつもなく多くの報告の宝箱になっています。手紙はもちろんのこと、ホームページの掲示板、メール、LINEメールと都合の良い方法でお願いします。

下記の資料にあるように「〇〇山に行ってきました。」「△△山を見てきました。」だけでも良いのです。もちろん写真だけでも良いのです。

待っています！

発行：広瀬守彦 H07 年卒

作成：吉田光二 S46 年卒



－資料－ OB会ホームページ「掲示板」 ライダースNo.96以降の投稿項目の紹介

- 【1065】12/5 鋸山 斎藤 勲 - 20/12/6(日) -
- 【1066】高柴山 (884M) 渡辺五郎 - 20/12/12(土) -
- 【1067】西大巔 (1981.8M) 渡辺五郎 - 20/12/20(日) -
- 【1068】12/24 弥彦山 斎藤 勲 - 20/12/25(金) -
- 【1069】刈田岳 (1757.9M) 渡辺五郎 - 20/12/26(土) -
- 【1070】元朝登山 片曾根山 (718.6M) 渡辺五郎 - 21/1/1(金) -
- 【1071】ホームページのURLが変わりました 吉田光二 - 21/1/8(金) -
- 【1072】矢筈森 (1673M) 渡辺五郎 - 21/1/10(日) -
- 【1073】1/15 弥彦山 斎藤 勲 - 21/1/16(土) -
- 【1074】奥の院の写真ありがとうございました 吉田光二 - 21/1/16(土) -
- 【1075】西大巔 (1981.8M) 渡辺五郎 - 21/1/17(日) -
- 【1077】1月21日快晴でした 吉田光二 - 21/1/22(金) -
- 【1078】鉄山 (1709.3M) 渡辺五郎 - 21/1/23(土) -
- 【1079】1/23 弥彦山 斎藤 勲 - 21/1/24(日) -
- 【1080】1/28 弥彦山 斎藤 勲 - 21/1/29(金) -
- 【1081】森吉山 (1454.2M) 渡辺五郎 - 21/2/2(火) -
- 【1082】2/8 弥彦山 斎藤 勲 - 21/2/7(日) -
- 【1083】2月6日(土) 護摩堂山 吉田光二 - 21/2/8(月) -
- 【1084】矢筈森 (1673M) 渡辺五郎 - 21/2/13(土) -
- 【1085】2月13日 二度目の護摩堂山 吉田光二 - 21/2/13(土) -
- 【1086】2/13 白山 斎藤 勲 - 21/2/14(日) -
- 【1087】Re:2/13 白山 渡辺五郎 - 21/2/15(月) -
- 【1088】2/20 米山 斎藤 勲 - 21/2/21(日) -
- 【1089】鉄山 (1709.3M) 渡辺五郎 - 21/2/23(火) -

- 【1090】 2/27 弥彦山 斎藤 勲 - 21/2/28(日) -
- 【1091】 岩手山 (2038.2M) 渡辺五郎 - 21/3/3(水) -
- 【1092】 茶臼岳 (1578.3M) 渡辺五郎 - 21/3/3(水) -
- 【1093】 3/5 弥彦山・裏参道 斎藤 勲 - 21/3/6(土) -
- 【1094】 三本槍岳 (1916.9M) 渡辺五郎 - 21/3/7(日) -
- 【1095】 3/11 米山 斎藤 勲 - 21/3/12(金) -
- 【1096】 雄国山 (1271.2M) 渡辺五郎 - 21/3/20(土) -
- 【1097】 3/20 白山 斎藤 勲 - 21/3/21(日) -
- 【1098】 ヒメコブシの花が咲きました 吉田光二 - 21/3/22(月) -
- 【1099】 3/27 鋸山 斎藤 勲 - 21/3/28(日) -
- 【1100】 湯殿山 (1500M) 渡辺五郎 - 21/3/28(日) -
- 【1101】 宇佐美先生が定年退職されました 吉田光二 - 21/4/1(木) -
- 【1102】 退職しました。 宇佐美博康 - 21/4/2(金) -
- 【1103】 Re:退職しました。 斎藤 勲 - 21/4/3(土) -
- 【1104】 国上山登山失敗しました。 宇佐美博康 - 21/4/3(土) -
- 【1105】 西吾妻山 (2035M) 渡辺五郎 - 21/4/11(日) -
- 【1106】 4/10 鋸山 斎藤 勲 - 21/4/11(日) -
- 【1107】 庭の花々 吉田光二 - 21/4/11(日) -
- 【1108】 山岳部復活の兆し 吉田光二 - 21/4/16(金) -
- 【1109】 4/16 鋸山 斎藤 勲 - 21/4/16(金) -
- 【1110】 入部報告 吉田光二 - 21/4/20(火) -
- 【1111】 4/23 粟ヶ岳 斎藤 勲 - 21/4/24(土) -
- 【1112】 前大巓 (1911M) 渡辺五郎 - 21/4/24(土) -
- 【1113】 我が家のシャクナゲが咲きました 吉田光二 - 21/4/25(日) -
- 【1114】 鳥海山 (2236M) 渡辺五郎 - 21/5/2(日) -
- 【1115】 5/4 鋸山 斎藤 勲 - 21/5/5(水) -
- 【1116】 日山 (1054.2M) 渡辺五郎 - 21/5/5(水) -
- 【1117】 高柴山 (884.4M) 渡辺五郎 - 21/5/9(日) -
- 【1118】 5/11 鋸山 斎藤 勲 - 21/5/12(水) -
- 【1119】 近況報告 顧問 久住公彦 - 21/5/13(木) -
- 【1120】 大名倉山 (576M) 渡辺五郎 - 21/5/16(日) -
- 【1121】 阿武隈山地でクマ 渡辺五郎 - 21/5/20(木) -
- 【1122】 矢大臣山 (964.7M) 渡辺五郎 - 21/5/23(日) -
- 【1123】 5/28 鋸山 斎藤 勲 - 21/5/29(土) -
- 【1124】 花塚山 (918.5M) 渡辺五郎 - 21/5/29(土) -
- 【1125】 私のアウトドア 吉田光二 - 21/5/29(土) -
- 【1126】 6/5 守門岳 斎藤 勲 - 21/6/6(日) -
- 【1127】 県総体に行ってきました 顧問 久住公彦 - 21/6/9(水) -
- 【1128】 県総体お疲れ様でした 吉田光二 - 21/6/11(金) -
- 【1129】 安達太良山 (1699.6M) 渡辺五郎 - 21/6/12(土) -
- 【1130】 6/18 守門岳 斎藤 勲 - 21/6/19(土) -
- 【1131】 6/25 守門岳 斎藤 勲 - 21/6/26(土) -
- 【1132】 鬼ヶ城山 (887.3M) 渡辺五郎 - 21/6/26(土) -
- 【1133】 7/3 弥彦山 斎藤 勲 - 21/7/4(日) -
- 【1134】 7/17 弥彦山 斎藤 勲 - 21/7/18(日) -
- 【1135】 大雪御鉢巡り 北鎮岳 (2244M) 渡辺五郎 - 21/7/30(金) -
- 【1137】 大雪 旭岳 (2290.9M) 渡辺五郎 - 21/7/31(土) -
- 【1138】 十勝岳 (2077M) 渡辺五郎 - 21/7/31(土) -
- 【1139】 車中泊の紹介 渡辺五郎 - 21/7/31(土) -
- 【1140】 北海道レポートありがとうございました 吉田 光二 - 21/7/31(土) -
- 【1141】 7/31 弥彦山 斎藤 勲 - 21/8/1(日) -
- 【1142】 近況報告 顧問 久住公彦 - 21/8/20(金) -
- 【1143】 Re:近況報告 斎藤 勲 - 21/8/22(日) -
- 【1144】 定年退職しました。 宇佐美博康 - 21/8/24(火) -
- 【1145】 宇佐美先生ありがとうございました。 吉田光二 - 21/8/25(水) -
- 【1146】 一切経山 (1948.8M) 渡辺五郎 - 21/8/28(土) -
- 【1147】 8/28 平標山 斎藤 勲 - 21/8/29(日) -
- 【1148】 高橋先生の思い出 渡辺五郎 - 21/9/5(日) -
- 【1149】 鉄山 (1709M) 渡辺五郎 - 21/9/12(日) -
- 【1150】 9/11 弥彦山 斎藤 勲 - 21/9/12(日) -
- 【1151】 9/17 鋸山 斎藤 勲 - 21/9/18(土) -
- 【1152】 ライダーズ97号届きました 渡辺五郎 - 21/9/18(土) -

- 【1153】 磐梯山 (1818.6M) 渡辺五郎 - 21/9/20(月) -
- 【1154】 9/25 守門岳 斎藤 勲 - 21/9/26(日) -
- 【1155】 10/2 弥彦山 斎藤 勲 - 21/10/3(日) -
- 【1156】 登山道の復旧レポートありがとうございました 吉田光二 - 21/10/4(月) -
- 【1157】 イワシヤジンが咲きました 吉田光二 - 21/10/6(水) -
- 【1158】 巻機山に行ってきました (10月9日) 顧問 久住公彦 - 21/10/9(土) -
- 【1159】 巻機山登山お疲れ様でした 吉田 光二 - 21/10/9(土) -
- 【1160】 10/9 鋸山 斎藤 勲 - 21/10/10(日) -
- 【1161】 七時雨山 (1059.9M) 渡辺五郎 - 21/10/11(月) -
- 【1162】 阿闍羅山 (769M) 渡辺五郎 - 21/10/11(月) -
- 【1163】 梵珠嶺 (468M) 渡辺五郎 - 21/10/11(月) -
- 【1164】 岩木山 (1624.7M) 渡辺五郎 - 21/10/11(月) -
- 【1165】 白神岳 (1235M) 渡辺五郎 - 21/10/11(月) -
- 【1166】 弥彦山 (634M) 廣瀬守彦 - 21/10/13(水) -
- 【1167】 10/15 粟ヶ岳 斎藤 勲 - 21/10/16(土) -
- 【1168】 佐藤太地さんからの投稿です 吉田 光二 - 21/10/17(日) -
- 【1169】 Re:佐藤太地さんからの投稿です 渡辺五郎 - 21/10/18(月) -
- 【1170】 佐藤さんに転送しました 吉田 光二 - 21/10/18(月) -
- 【1171】 吾妻小富士に行ってきました 吉田 光二 - 21/10/20(水) -
- 【1172】 Re:吾妻小富士に行ってきました 渡辺五郎 - 21/10/23(土) -
- 【1173】 OB会が無事に終了しました 吉田 光二 - 21/10/23(土) -
- 【1174】 Re:吾妻小富士に行ってきました 宇佐美博康 - 21/10/23(土) -
- 【1175】 蓬田岳 (952M) 渡辺五郎 - 21/10/24(日) -
- 【1176】 9回生の川村さんが事務局来訪 吉田 光二 - 21/10/30(土) -
- 【1177】 10/30 鋸山 斎藤 勲 - 21/10/31(日) -
- 【1178】 11/6 鋸山 斎藤 勲 - 21/11/8(月) -
- 【1179】 ダイモンジソウが咲きました 吉田光二 - 21/11/9(火) -
- 【1180】 川村芳夫さんが投稿しました 吉田光二 - 21/11/9(火) -
- 【1181】 Re:川村芳夫さんが投稿しました 渡辺五郎 - 21/11/23(火) -
- 【1182】 三本槍岳 (1917M) 渡辺五郎 - 21/11/23(火) -
- 【1183】 移ヶ岳 (995M) 渡辺五郎 - 21/11/23(火) -
- 【1184】 11/20 鋸山 斎藤 勲 - 21/11/23(火) -
- 【1185】 一盃山 (856M) 渡辺五郎 - 21/11/27(土) -
- 【1186】 五十人山 (883.2M) 渡辺五郎 - 21/12/11(土) -